

3. アライグマのモニタリング等実施

3.1 目的

現在アライグマは、重点予防種に指定されている。「沖縄県外来種対策行動計画に基づくアライグマ早期発見・防除計画」（以下「アライグマ防除計画」という。）から、対策の方針等を一部抜粋した（表 3-1）。本業務では、行動計画及びアライグマ防除計画に定められた目標の達成のため、アライグマの侵入監視及び発見時の初期防除を行う。

表 3-1 アライグマ防除計画の目標及び対策の方針に基づく実施項目

目標：アライグマの定着防止				
対策の方針		実施項目	期間及び実施内容	
早期発見	侵入状況の監視	調査による生息状況の確認	短期～長期	定期的に自動撮影カメラ等によるモニタリングを実施する。
		県民や事業者からの情報収集	短期～長期	アライグマは比較的大きな哺乳類で、沖縄には似た生物が生息しないことから、県民やエコツアーガイド等へ直接ヒアリングを行い、生息状況の把握を行う。
		遺棄・逸出の防止	短期	関係機関と連携し、県内において飼養許可を受けている飼育者に対し、可能な範囲で遺棄・逸出を防止するための普及啓発を実施する。

※短期は概ね3年目までの期間、長期は概ね4年目以降の期間

3.2 自動撮影カメラによるモニタリング

3.2.1 調査方法

アライグマ防除計画に基づき、これまで調査が実施されていない本部半島を中心に自動撮影カメラによるモニタリングを実施した（表 3-2、図 3-1）。カメラの設置地点は、アライグマが水辺環境を好むことから、河川沿いを含む山林や農地とした。10 か所の調査エリアにおいて、生息状況の確認を行った。

表 3-2 エリア毎のカメラ設置状況

調査エリア	開始	終了	設置台数	稼働台数	調査日数
エリア1	8月5日	9月22日	14	14	48
エリア2	11月17日	12月19日	8	8	32
エリア3	11月17日	12月19日	9	9	32
エリア4	7月29日	9月22日	18	18	55
エリア5	12月22日	1月22日	9	9	31
エリア6	11月17日	12月19日	13	13	32
エリア7	6月13日	7月13日	20	19	30
エリア8	12月22日	1月22日	11	11	31
エリア9	10月14日	11月14日	14	13	31
エリア10	12月22日	1月22日	12	11	31
総計			128	125	353

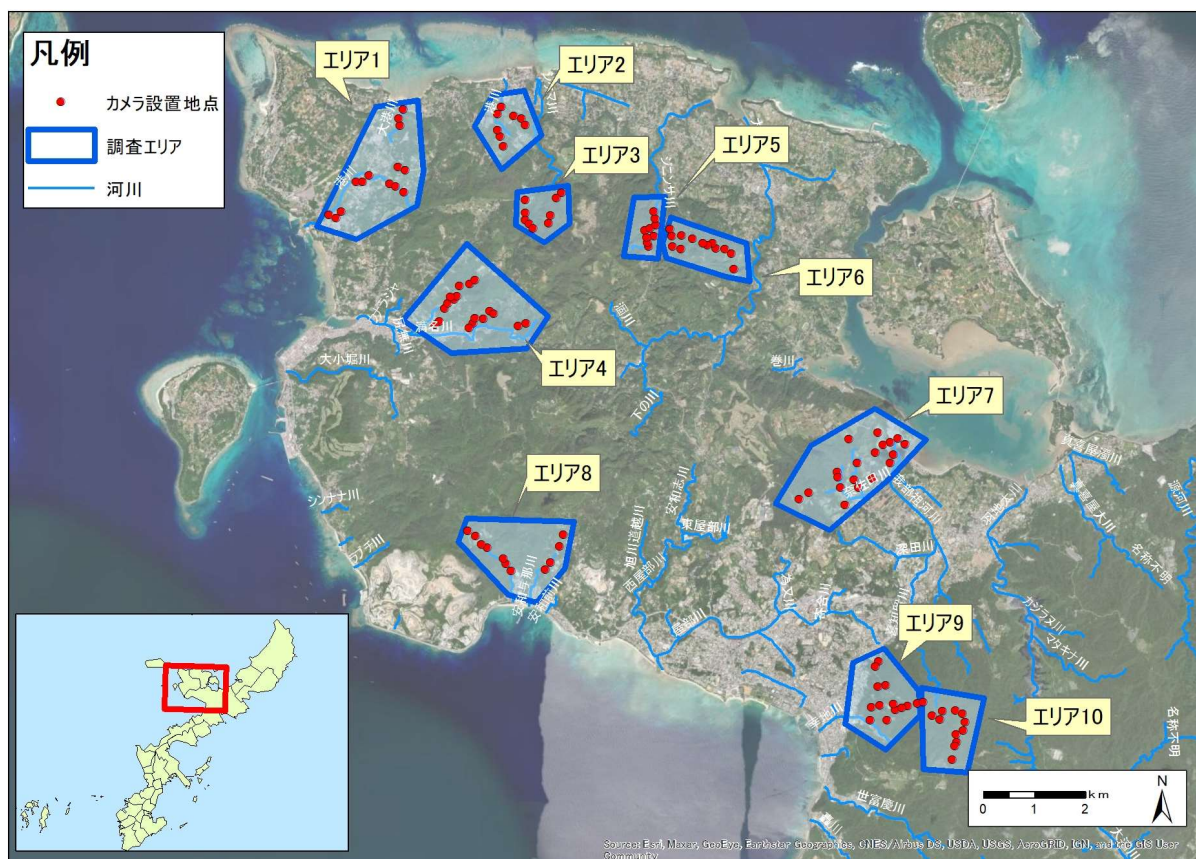


図 3-1 調査エリア及びカメラ設置地点

3.2.2 調査結果

各調査エリアでの撮影結果を示した（表 3-3）。全てのエリアにおいて、アライグマは撮影されなかった。外来種は哺乳類 4 種、在来種は哺乳類 2 種、鳥類 8 種が撮影された。外来哺乳類の中ではマンゲースが全てのエリアで確認され、全エリアを合計した撮影地点割合（稼働した全てのカメラのうち、撮影されたカメラの割合）は最も高い 85.6%であった。

表 3-3 各調査エリアでの撮影結果

No.	外来/ 在来	分類	撮影種	エリア毎の撮影地点割合(%)										全エリア撮影 地点割合(%)
				エリア1	エリア2	エリア3	エリア4	エリア5	エリア6	エリア7	エリア8	エリア9	エリア10	
1	外来	哺乳類	マンゲース	85.7	75.0	88.9	77.8	100.0	100.0	89.5	90.9	61.5	90.9	85.6
2			ネコ	35.7	37.5	22.2	44.4	11.1	15.4	0.0	36.4	46.2	18.2	26.4
3			クマネズミ	64.3	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	10.4
4			イヌ	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	15.4	0.0	9.1	7.7	0.0	4.0
5	在来	哺乳類	イノシシ	0.0	0.0	44.4	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	53.8	72.7	16.8
6			ジャコウネズミ	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	5.6
7		鳥類	シロハラ	0.0	25.0	77.8	0.0	100.0	92.3	0.0	100.0	0.0	72.7	39.2
8			キジバト	14.3	12.5	33.3	33.3	44.4	53.8	15.8	27.3	7.7	63.6	29.6
9			ハシブトガラス	78.6	37.5	0.0	38.9	0.0	23.1	26.3	18.2	7.7	36.4	28.8
10			トラツグミ	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	4.0
11			アカショウビン	14.3	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	4.0
12			サシバ	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
13			ヒヨドリ	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	1.6
14			ゴイサギ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.8
15	不明	鳥類	不明	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	15.4	0.0	45.5	0.0	0.0	7.2
稼働カメラ台数				14台	8台	9台	18台	9台	13台	19台	11台	13台	11台	125台

3.2.3 他事業を含めた自動撮影カメラによるモニタリング結果

沖縄県による平成 28 年度外来種対策事業、環境省による令和 3 年度及び令和 4 年度沖縄島北部地域におけるマングース防除事業、沖縄県による令和 4 年度マングース対策事業では、沖縄島の北部地域において自動撮影カメラによるモニタリング作業が行われている。これらのカメラ地点においてアライグマは撮影されなかった。

3.3 目撃情報等のヒアリング

目撃情報等のヒアリングは、本部半島で活動する有識者 1 名に対して実施した他、自動撮影カメラによる調査時に 2 名、令和 4 年度県民環境フェア「エコライフ&ネイチャーフェア 2022」において 33 名の来場者に実施したが、アライグマの目撃情報は得られなかった。また、令和 4 年度外来種対策事業によって開設されたホームページ「沖縄県外来種.com (<https://okinawa-gairaisyu.com>)」において県内の外来種に関する目撃情報を募集し、令和 5 年 3 月 20 日時点で 121 件の情報が寄せられたが、アライグマの目撃情報はなかった。

3.4 飼養状況調査

アライグマは特定外来生物に指定されており、飼養には許可が必要であるため、外来生物法を所管する環境省へヒアリングを実施した。現在飼養許可を受けている飼養者に関して照会したところ、飼養者はいないとの回答を得た。

3.5 まとめ

自動撮影カメラ、ヒアリング及び飼養状況調査の結果から本種が県内で野生化している可能性は低いと考えられる。また、外来生物法で特定外来生物に指定され、飼養等に規制があり、新たな放出等のリスクが少ないことから、沖縄県対策外来種リストの【重点予防種】から【予防種】へとカテゴリーを変更することとなった。